

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都港区
園名	港区桂坂保育室

1. 活動のテーマ

<テーマ>

曲ができるまで

<テーマの設定理由>

今年の園のテーマでもある、世界・自由・多様性ということを念頭におきながら、世界の言語や文化を皆で深められるような体験をする。

2. 活動スケジュール

- 8月 タンバリンでリズムを取る。
→5歳児クラスは運動会(太鼓)に向けてのリズム遊びに繋がる。
- 9月 タンバリンとハンドベルを使い演奏に取り組む。
曲を作る事とはどんなことなのかを四分音符を並べてリズムを取ることで体験してみる。
→5歳児クラスは太鼓の演奏に向け、リズム遊びを行う。
- 10月 音階や四分音符、休符について知る。
→音階カードや音符カードを使用。曲作りのイメージをつける。
- 11月 各音符について知る。
→電車楽譜シートを使い、友だちと作った曲を繋げて楽しむ。
- 12月 楽譜シートを使い、曲を繋げてリズム遊びをする。
→4歳児クラスは音符を好きなように組み合わせて出来たリズムを歌ってみる。
→5歳児クラスは鍵盤ハーモニカを使い、自分で書いたリズムに好きな音をつけてみる。
- 1月 楽器作りに取り組む。3歳児クラスはマラカス作り。4・5歳児クラスは設計図を自身で書き、手作り楽器を作る。
作った楽器を使い、自由演奏をする。

※月1回専門講師を招致し、音楽活動を実施した。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

地図や地球儀、世界の楽器図鑑などを用意し、自由に触れる環境を作り、子どもたちが自身で調べ深めていけるようにする。

自由に楽器に触れることができる環境にすることで、楽器への興味を深めていけるようにする。

楽器や図鑑などを通して、各国の言語や文化を調べたり、実際の楽器に触れる。また、他国の言葉を用いてグループごとに活動や発表を行う。

4. 探究活動の実践

【3歳児実施分】

問いを考える：

- ・音楽ってどうできるの

「歌を作ったことある？」の問いに「やってみる」「できる！」と意欲的な返答が多

かった。

- ・世界の音楽ってどんなもの
- ・世界の楽器ってどんなもの

探究活動の様子：

- ・ピアノに合わせて鼻歌を歌う。手拍子でリズムを取る。
- ・タンバリン、ハンドベルを使ってリズムを取る。
- ・音階について知る。(音階カードを並べ、歌ってみる)
- ・四分音符、二分音符について知り、リズムを取る。
- ・電車楽譜を使い、好きな音符を並べ、グループごとに発表する。

音符を並べて音を出す。保育者が「どんな音に聞こえたかな？」と問いかけると、「ちょっと変」「シを足してみよう」と自分たちなりに並べる 音符を考え、実践していた。

- ・楽器作り(マラカス)

→小型ペットボトルにビーズやストローを入れてマラカスを作る。「どんな物を入れたらいい音になるかな？」と聞くと、「石とか砂!」「小さい物!ビーズ」とそれぞれ考えを伝えていた。

- ・作ったマラカスを使い、ピアノに合わせて自由演奏を楽しむ。

ふりかえり(保育士の気付き)：

- ・リズムを取ることに個人差が見られ、自身でリズムを合わせることが難しい子もいた。
- ・音符の違いや内容の理解が難しい様子で、飽きが見られることもあった。
- ・楽譜作りに取り組むが、内容の理解は難しい様子だったが、リズムを取ることは楽しめていた。
- ・楽器作りに高い期待を持って取り組み、意欲的に参加していた。楽器への興味関心を高めていた。

【4歳児実施分】

問いを考える：

- ・音楽ってどうできるの
- ・曲はどうやってつくるの
- ・世界の音楽ってどんなもの
- ・世界の楽器ってどんなもの

探究活動の様子：

- ・果物カードを選び、果物のイメージを追加してタンバリンをたたき、リズムをとる。
- ・四分音符について知り、カスタネットでリズムを取る。
→「こ ん に ち は のリズムはこれでいいかな」「たん たん たん かなあ」と リズムの取り方を楽器を鳴らしつつ考えていた。
- ・音階について知り、メロディーを歌ってみる。
- ・四分音符と二分音符を組み合わせてリズムを取る。
- ・好きな音符を組み合わせて譜面に書いてみる。
→出来た曲のリズムをとってみる。ピアノに合わせて楽器を鳴らし楽しむ。保育者が「自分でつくってみた曲のリズムはどうだったかな」と聞くと、リズムのずれに自分たちで気付く、「たんは2回かなあ」と調節を行っていた。
- ・リズムカードと音符カードを組み合わせてリズム遊びをする。
「どんな曲だと思う？」と聞くと「海の中みたい」とイメージを持って
- ・楽器作りに取り組み、作った楽器を使って演奏を楽しむ。
→保育者が「どんな音が鳴る？」と聞くと「大きな音！」「面白い音だね」と自身の楽器の音に喜んでいた。

ふりかえり(保育士の気付き)：

- ・日常の言葉の中にもリズムを作ることが出来ることに気付いた。
- ・音階について知り、興味を持ち表現することを楽しめていた。
- ・各音符の違いについて理解でき、リズムを取ることが出来ている様子だった。
- ・曲作りの内容が難しく、戸惑う姿もみられた。

- ・各楽器の音の違いを、楽器を鳴らして聞いて楽しみ、「なぜ この音が鳴るのか？」を考えていく機会に繋がった。
- ・楽器作りに意欲的に取り組み、友だちの作った楽器との音の違いを感じながらも楽しめている様子だった。
 - 楽器作りに対して、興味関心を深めた。

【5歳児実施分】

問いを考える：

- ・音楽ってどうできるの
- ・世界の音楽ってどんなもの
- ・曲はどうやって作るの
 - 「作曲はベートーベン」「四分音符とかでしょ」と知識を伝えていた。
- ・世界の楽器ってどんなもの
- ・どうやって手づくり楽器で音をだそう

探究活動の様子：

- ・タンバリンでリズムを取る。
 - 果物カードを選び、果物から「色」「形」「匂い」など連想する言葉を追加し、リズムをとる。
- ・曲を作るにはどうするのか。
 - 四分音符を並べてリズムを取る。タンバリン、カスタネットに分かれて演奏してみる。
- ・四分音符、四分休符について知り、手拍子でリズムを取る。
- ・運動会に向けて太鼓のリズム遊びに取り組む。グループに分かれてそれぞれ違ったパートのリズム取りを楽しむ。
- ・音階カードを使用し、歌いながらリズムを取る。
- ・「子犬のマーチ」をオリジナルの歌詞をつけて歌ってみる。講師の
- ・楽譜作りに取り組む。
 - 電車楽譜シートを記入する。
 - 友だち同士で記入した電車楽譜シートを繋げて、どんなリズムになるか確認する。
- ・鍵盤ハーモニカに取り組む。
 - 自身で書いたリズムに好きな音をつけてみる。

- ・「子犬のマーチ」を様々な楽器を使い演奏してみる。講師が付けた歌詞を面白がり「おかしな歌」だなと感じて発言をしたり、「じぶんでもやってみよう」と意欲的になっていた。
- ・楽器の設計図を書き、手作り楽器を作る。
 - 設計から工作まで子どもたちが自身で取り組むことができた。完成後は、作った楽器の発表を行った。保育者が「自分で作って見た楽器はどうだったかな」という問いに対し、子どもたちは「なんの音が出ているのかな」「高めの音だね」「ぱちぱちしているね」と友だちの楽器に使用されている材料や作りに興味を持っていた。完成に満足した様子で「もう一つ作りたい」と話していたため、材料を多めに用意して作る事が出来るようにした。
 - 作った楽器で演奏してみる。
 - ピアノに合わせて自由演奏を楽しむ。

ふりかえり(保育士の気付き)：

- ・日常の言葉の中にもリズムを作れることに気付き、楽しめる。
- ・運動会に向けた活動(太鼓)に繋げる形で、リズム遊びに取り組んでいく。
- ・音階、四分音符、休符のカードを並べ、手拍子や楽器でリズムを取り演奏を楽しむことが出来ていた。
- ・日常保育の遊びの中にも、音階カードや楽譜シートを使い曲作りに取り組んでいきたい。
- ・音符の違いについて理解できていた。
 - 五線譜をクラスに置くことで、楽譜の書き写しをして遊ぶなど、日々の遊びに組み込むことができた。
- ・楽器の設計図作りから取り組むことで、イメージが膨らみ、個性豊かな形の楽器が出来上がった。
- ・楽譜作りから楽器作りまで順に取り組んでいくことで、音楽への興味関心を深め、探求心が広がった。

5. 活動の様子が分かる写真

3歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



4歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都港区
園名	港区桂坂保育室

1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界の国・文化・多様性への興味を深める

<テーマの設定理由>

日本人以外のお子様が複数在籍する園であることから、日頃よりほかの国への興味関心が持てる環境にあること。またいろいろな特徴や、いろいろな考えがあることを子供たち自身に伝え、日々の生活の中から多様性を認め意識できるような環境でありたいと思ったため。

2. 活動スケジュール

8月 インドの国旗、文化、大きさ、場所、挨拶、食べ物について知る。
9月 イタリアの国旗、文化、大きさ、場所、挨拶、食べ物、スポーツについて知る。
10月 フィリピンの国旗、文化、大きさ、場所、挨拶、食べ物、スポーツについて知る。
11月 カメルーンの国旗、文化、大きさ、場所、挨拶、食べ物、スポーツについて知る。
12月 オーストラリアの国旗、文化、大きさ、場所、挨拶、食べ物、スポーツ、海について知る。
1月 海の生き物の英語名を知る。
海の生き物にいろいろな種類があることを知る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

地図や地球儀、図鑑などを用意し、自由に触れる環境を作り、子どもたちが自身で調べ深めていけるようにする。

楽器や図鑑などを通して、各国の言語や文化を調べたり、実際の楽器に触れる。また、他国の言葉を用いてグループごとに活動や発表を行う。

※月1回専門講師を招致し、英語活動を実施した。

4. 探究活動の実践

【3歳児実施分】

問いを考える：

- ・世界にはどんなくにがあるのか
- ・世界での挨拶の仕方はどんなもの
- ・どんな食べ物があるの
- ・挨拶の仕方は
- ・海の生物について知る

探究活動の様子：

- ・様々な国について、国旗や挨拶、有名な物など文化について知る。

→有名な食べ物や文化物のイラストを見て名称を言ってみる。「保育者が「知っているものはあるかな？」と聞くと、「見たことある！」「おやつで出てた」と嬉しそうに保育者に報告していた。

→各国旗の色や特徴をみて楽しむ。

- ・外国の挨拶について知り、発音してみる。
- ・園生活の中で、外国の文化が取り入れられていることに気付く。
- ・海の生き物について知り、名前も英語で言ってみる。

→生き物の種類や特徴について知る。

ふりかえり(保育士の気付き)：

- ・外国についての興味・関心は個人差がみられており、国旗カルタや図鑑、塗り絵などを通して興味をより引けるように努めた。
- ・各国の挨拶や文化について、日常生活内で関わりのあるものについて知らせていく。(給食のメニューなど)
- ・海の生き物の英語名について知り、生き物の特徴(魚か哺乳類か、脊椎動物か無脊椎動物かなど)をクイズを通して考えるが、内容の理解が難しい部分が多かった。

【4歳児実施分】

問いを考える：

- ・世界にはどんなくにがあるのか
- ・世界での挨拶の仕方はどんなもの
- ・どんな食べ物があるの
- ・海の生き物について知る

探究活動の様子：

- ・様々な国について、国旗や挨拶、有名な物など文化、スポーツについて知る。
- ・地球儀を見ながら、他国と日本の場所や大きさの違いについて知る。
→「みんなが知っている国はある？」と講師が聞くと、見知った国(ロシアの子が2名在籍)の国旗を見て「(友だちの名前)ちゃんの国だ」と講師に伝えていた。
クラスのグループ名を、国名を使用することに子どもたちで相談して好きな国をグループ名に付けていた。
- ・園生活の中で、外国の文化が取り入れられていることに気付く。
- ・製作活動を通じて、外国の文化に触れる。(ハロウィンマスク、塗り絵など)
- ・海の生き物について知り、名前も英語で言うしてみる。
→生き物の種類や特徴について知る。

ふりかえり(保育士の気付き)：

- ・外国について国旗カルタや図鑑、地球儀、塗り絵などを通してより興味を引けるように

務めた。

- ・各国の挨拶や文化について、日常生活内で関わりのあるものについて知らせていく。(給食のメニューやゲーム、絵本など)
- ・海の生き物の英語名について知り、生き物の特徴(魚か哺乳類か、脊椎動物か無脊椎動物かなど)を保育者からクイズを出し、子どもたちも考えるが、理解には個人差があった。

【5歳児実施分】

問いを考える：

- ・世界にはどんなくにがあるのか
- ・各国の大きさや場所は
 - 各国の象徴的なもののイラストを見る。図鑑などで自主的に国について調べる子がいた。
 - 各国の国旗の特徴をみて日本の国旗との違いを比べてみた。
- ・世界での挨拶の仕方はどんなものがあるか
 - 講師と各国の挨拶を体験してみる。
- ・どんな食べ物があるか、日本との違いや普段食べていた物のルーツについて知る。
 - 分からない、保育者から日本との違いについて等の難しい質問に対して「わからない」「知らない」と講師に対して答えていた。
- ・海の生き物について知る

探究活動の様子：

- ・様々な国について、国旗や挨拶、有名な物など文化、スポーツについて知る。
- ・地球儀を見ながら、他国と日本の場所や大きさの違いについて知る。
- ・園生活の中で、外国の文化が取り入れられていることに気付く。
- ・製作活動を通じて、外国の文化に触れる。
- ・自身の知っているものや興味のあるものについて、積極的に発言する。
- ・外国の言葉の中にも、日本語単語と同じ発音の物があることに気付く。
- ・外国のハロウィンやクリスマスについて知り、日本との違いに驚き、興味を持つ。
- ・海の生き物について知り、名前も英語で言ってみる。

→生き物の種類や特徴について知る。

ふりかえり(保育士の気付き)：

- ・外国について国旗カルタや図鑑、地球儀、塗り絵などを通してより興味を引けるように務めた。
- ・各国の挨拶や文化について、日常生活内で関わりのあるものについて知らせていく。(給食のメニューやゲーム、絵本など)
- ・他国との文化の違いに興味を持つ子もおり、図鑑で確認を行う姿が見られた。
- ・海の生き物の英語名について知り、生き物の特徴(魚か哺乳類か、脊椎動物か無脊椎動物かなど)をクイズを通して考えるが、理解には個人差があった。内容が少し難しく、全体で楽しむのならもう少し分かりやすい内容の方が良かったかもしれない。

5. 活動の様子が分かる写真

3歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



4歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

